

平成 23 年 3 月 8 日

厚生労働大臣 殿

年金記録回復委員会

第 3 号被保険者の記録不整合問題についての意見

平成 23 年 3 月 8 日の当委員会において、厚生労働大臣から『法改正なども視野に入れつつ対応する』ことについての助言を求められましたので、以下のように意見を申し述べます。

1. いわゆる「運用 3 号」については、昨年 3 月の当委員会の総意としては、やむを得ない対応であるとしたところだが、これについては、当時の状況からすれば、従前の対応との連続性の観点及び今後への是正策の観点から一つの考え方であったと思料する。
2. その後、本年 1 月以降、各方面から、①「運用 3 号」対象者と過去に記録不整合を是正してきた者との間での不公平、②今後法令に基づき適正な届け出を行うことに対するモラルハザード拡大の懸念等の指摘をいただく中、厚生労働大臣が「法改正を視野に置いた抜本改善策を早急に検討する必要がある」との考え方を示されているが、諸事情に鑑みると、妥当なことであると思料する。
3. 「第 3 号被保険者の記録不整合問題」については、今後も年金記録回復委員会として必要な助言等を行う。

以上

年金記録回復委員会 委員名簿

(委員長)

いそむら
磯村 もとし
元史

(函館大学客員教授)

いなげ
稲毛 ゆか
由佳

(社会保険労務士・ジャーナリスト)

いわせ
岩瀬 たつや
達哉

(ジャーナリスト)

うめむら
梅村 ただし
直

(社会保険労務士)

かねだ
金田 おさむ
修

(全国社会保険労務士会連合会会長)

こまむら
駒村 こうへい
康平

(慶應義塾大学教授)

さいとう
齋藤 きよみ
聖美

(ジェイ・ボンド東短証券株式会社代表取締役社長)

ひろせ
廣瀬 こういち
幸一

(社会保険労務士)

みき
三木 たけのぶ
雄信

(ジャパン・フラッグシップ・プロジェクト株式会社代表取締役社長)

(五十音順、敬称略)